

## 各種健（検）診の注意事項

- ◆医師会健診、地区健診、医療機関健診、人間ドック等を重複して受けることはできません。
- ◆市の健康診査では聴力・視力検査は実施しません。
- ◆がん検診は上越市に住民票があれば、加入の健康保険にかかわらず受診できます（年齢制限⇒3ページ）。

### がん検診の注意事項

#### ◎飲食について

軽めの食事であれば右表の時間までにとることができます。以降は、アメ、ガム、お茶、たばこ等も控えてください。水や白湯のみ検査2時間前までであれば、コップ1杯程度飲んでもかまいません。

受診日程	飲食を済ませる時間
午前	前日 午後9時
午後	当日 午前7時

◎服薬について 高血圧、心臓病、血液抗凝固薬等は、検査の2時間前までに水・白湯で服用してください。

#### ◎糖尿病治療中の人へ

	午前に健診を受ける人	午後に健診を受ける人
糖尿病の薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>前日の夕食はいつもどおり食べ、糖尿病の薬(インスリン注射)は服用(使用)してください。</li> <li>当日の朝食(あめやガムを含む)は食べず、朝の糖尿病の薬(インスリン注射)は服用(使用)しないでください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝食は午前7時頃までに済ませ、糖尿病の薬(インスリン注射)は服用(使用)してください。</li> <li>昼食は食べず、昼の糖尿病の薬(インスリン)は服用(使用)しないでください。</li> </ul>
	※低血糖になるおそれがありますので、ブドウ糖などをご持参ください。	

◎主治医の許可が必要な人 高血圧や心臓病など、毎日飲んでいる薬がある

#### ◎検診を受けられない人（医療機関等での胃内視鏡による検査をおすすめします）

- ◆ペースメーカーや埋込型除細動器(ICD)が入っている ◆人工透析をしている ◆妊娠中または妊娠の可能性がある
- ◆持続グルコース測定器、インスリンポンプを装着しており、取り外しができない、また、取り外しはできるが、機器を取り外していいか主治医に確認していない
- ◆下剤、バリウムでじんましんなどのアレルギー症状(アナフィラキシーショック)がでたことがある
- ◆腸閉塞・腸捻転の既往がある ◆バリウムが肺や気管に入ったことがある ◆胃をすべて切除している
- ◆在宅酸素療法をしている ◆人工肛門を造設している ◆消化管の穿孔(穴が開いた)で治療を受けたことがある
- ◆食道や胃、十二指腸および小腸・大腸(潰瘍性大腸炎、クローン病、大腸憩室炎など)の病気で服薬(注射)治療している
- ◆過去1年以内に次の手術を受けたことがある(腹腔鏡手術を含む):腹部、心臓、呼吸器疾患、頭部、運動器(背骨関節など)、前立腺、卵巣、子宮などの婦人科疾患※2か月以内に胃ポリープや大腸ポリープ内視鏡手術を含む
- ◆治療していない鼠径ヘルニアがある
- ◆脳出血・脳梗塞などの脳血管疾患、心筋梗塞・狭心症などの虚血性心疾患、てんかんを1年以内に起こしたことがある
- ◆メニエール病の治療中または自覚症状がある ◆腎臓病などで水分制限がある
- ◆撮影台から転落の恐れや撮影が困難、自立歩行が困難または撮影台の手すりを握ることが難しい、検査のための体位変換(寝返り)ができない、体重が135kg超
- ◆検診当日を含め、3日間以上排便がない
- ◆検診時の血圧が180/110mmHg以上
- ◆糖尿病治療中で、検診当日に食事をしないで糖尿病の薬を飲んだ、インスリン注射を使用した
- ◆脳圧亢進シャント(VPシャント)が入っている
- ◆上記以外でも当日の間診などにより、検査をご遠慮いただく場合があります。

胃

### がん検診の注意事項

大腸

◎受診歴がある人や検診を予約された人に、検診日のおおむね2週間前に容器を郵送します。検診日を含む3日前から2日分の便を取り、検診当日に容器を会場へお持ちください。

肺

#### ◎胸部エックス線検査

65歳以上の人は、結核検診として年1回の胸部エックス線検査が義務付けられています。

#### ◎検診を受けられない人

- ◆持続グルコース測定器、インスリンポンプを装着しており、取り外しができない、また、取り外しはできるが、機器を取り外していいか主治医に確認していない
  - ◆妊娠中、妊娠の可能性がある
- ※肺疾患で治療中や経過観察中の人は、検診受診についてかかりつけ医にご相談ください。

#### ◎喀たん細胞診

胸部エックス線検査を受け、次の①②のいずれかに該当する人のみ受診できます。

- 50歳以上で喫煙指数(1日の本数×喫煙年数)が600以上の人 ※加熱式たばこを含む
- 40歳以上で重クロム酸、石綿等を取り扱ったことのある人

#### ◎胸部CT検診

次の①②の両方に該当する人が別日で受診できます。健康づくり推進課へお申し込みください。

- 上越市が実施する胸部エックス線検査を12月末までに受診し、精密検査の必要がない人
- 50歳以上で喫煙指数(1日の本数×喫煙年数)が600以上の人 または40歳以上で重クロム酸、石綿等を取り扱ったことがある人

前立腺  
肝炎

◎希望する人は、事前に予約をしてください。

子宮  
頸

◆生理中の方はご遠慮ください。また、子宮全摘手術を受けている人、妊娠中、妊娠の可能性のある人は、医療機関で受診してください。

◆市が実施する子宮頸がん検診は、年度内に医療機関か医師会・地区健（検）診のどちらか1回受診できます。年度内に2回以上受診された場合は、全額自己負担となります。

乳

#### ◎検診を受けられない人

- ◆持続グルコース測定器、インスリンポンプを装着しており、取り外しができない
  - ◆6か月以内のケガや手術で胸部に傷口がある ◆乳房の撮影体位(姿勢)が保てない
  - ◆妊娠中、妊娠の可能性があり、授乳中、または産乳6か月以内である
  - ◆しこり等の自覚症状がある、豊胸手術\*を受けた、皮下埋込型ポートが入っている、ペースメーカー、埋込型除細動器(ICD)、脳圧亢進シャント(VPシャント)が入っている
- ※ヒアルロン酸注入、脂肪注入、生理食塩水バッグも含まれます。

### がん検診で「要精密検査」となった場合の医療機関での主な検査方法

胃	胃の内部を内視鏡で詳しく観察し、必要に応じて細胞を採取します。
肺	胸部CT検査もしくは気管支鏡検査などを行います。
大腸	大腸の内部を内視鏡で詳しく観察し、必要に応じて細胞を採取します。
子宮頸部	陰拡大鏡下の組織診、細胞診、HPV検査等を組み合わせて行います。
乳	マンモグラフィ検査、超音波検査、細胞診、組織診を組み合わせて行います。

精密検査結果は、今後の検診精度向上のため、市町村、検診機関と共有されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は、最初に受診した医療機関にも精密検査結果が共有されます。